

公民館 通信

No.322
2025.12発行

たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 〒206-0025 多摩市永山1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003
多摩市立関戸公民館 〒206-0011 多摩市関戸4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491



TAMA 映画フォーラム (TCF) 実行委員会 三吉 啓司 さん

映画の魅力？ そうですね～。暗闇の中で作品に何時間も没頭して、笑いも感動もみんなで観てみんなで共有して…その中で自分だけの感じ方考え方方が分かるのがいいですね～。

学生時代は映画サークルに所属し、8mm 映画作りや上映会と楽しく「お祭り気分」だったとか。授業に出るより映画館に通った数が多いと笑う。初めて TAMA 映画祭を観たのは、市民になった1993年。この映画祭はすごい！！と心底感動し、定年退職したら実行委員をやるぞ！と決めていたという。



多摩市制 20 周年を記念して 1991 年に始まった「TAMA CINEMA FORUM」は今年 35 周年。その年を彩った作品・人物を表彰し「日本で一番早い映画賞」といわれる「TAMA 映画賞」、若手映像作家を発掘・応援する「TAMA NEW WAVE」、さらに国内外の注目作品の上映を「3つの柱」とする。

「市民手作り」のこの TAMA 映画祭は、ボランティア実行委員約 80 名全員が、企画・交渉・運営など活動の担い手となる。実行委員会は、「懐が深い」「守備範囲も広い」「スタッフ、ウエルカム！」だそうだ。

今年は 11/8～24 まで、パルテノン多摩・ヴィータホール・ベルブホールの 3 会場で約 60 作品が上映された。先述の授賞式は 11/15 にパルテノン多摩で。『国宝』『ルノワール』が最優秀作品賞に選ばれ、授賞式には俳優や監督が何人も登壇。とても豪華で夢のようだった。

中学生の頃、映画に没頭し始めた三吉さん。今回の推し作品は、二十歳の郷ひろみと秋吉久美子が登場する『さらば夏の光よ』。父の転勤で、小中高合わせて 7 校に通い、幼なじみはいないが、学生時代の友人が観に来てくれたと嬉しそう。他にも旅行が好き！昔の漫画も好き！ 永井豪、ちばてつやに続いて、大島弓子、岩館真理子など少女漫画家の名前と作品名が次から次に。笑顔と饒舌に何の取材だったか混乱しそうになった。



永どん



第26回永山フェスティバル

2025/9/20(土)21(日) 小田急・京王「永山」駅前エリアにて



永山を応援するどん!
多摩市永山地区PRキャラクター



今年も「第26回永山フェスティバル」が9月20日(土)、21日(日)、永山駅一帯で無事に開催されました! 土曜に少し雨足が強くなり、心配な時間帯もありましたが、熱いステージが雨を跳ねのけたおかげで、途中で中止になることもなく、日曜は快晴に恵まれました。結果、今年も最後まで多くの市民が足を止めて、楽しいひと時を過ごすことができました。



大きなステージも4つ、グリナード永山4階、2階、ベルブホール、プレゴ前で2日間、たくさんのグループが歌やダンスや演奏などを披露しました。しかも今年は昭和100年企画! どのグループも昭和の曲を入れることになっていたり、昭和歌謡に特化したバンドがステージを飾ったりで、昭和を知るのみならず、平成生まれの若い人も「昭和っていいね♪」と心に響いていた様子。グランドフィナーレはいつもの一番大きなグリナード広場ステージで、実行委員長の挨拶から始まり、実行委員さん、公民館の職員さんたちも踊る、踊る。司会者の絶妙

なトークも相まって、最後まで残った方々は歓喜の渦に巻き込まれていました。

グリナード永山内の2階つばさ広場、どんぐり広場でも、絵手紙、ロケ地紹介、ハンドマッサージなど、さまざまな催しを開催。ベルブ永山3階、4階は吹き矢体験、豆富作り体験、保育室、児童館の楽しい遊びコーナー等、あふれんばかりのイベントがあちこちで催されました。永どんやあそんじや王子も館内を闊歩し、嬉しそうに目的の部屋を探す親子連れや来場者で、会場は終始活気づいていました。



美味しい匂いが漂う模擬店も並び、リユース食器に気づいた方はちゃんとマメに返却して下さっていたので、地球に優しい取り組みだなあとほっこり。コロナ禍で寂しい思いをした年も、台風の直撃に遭った年もありましたが、どうかこの楽しい催しが、市民さんと職員さんの手によってこれからもずっと続いて行きますようにと切に願う筆者がありました。(楽)



親の終活・自分の終活



「今から考える相続対策」講座へ

70代の親を持つ30代職員が潜入!

「相続って自分には関係ない話じゃないか。資産家の家ではないんだし。」

「親が亡くなったあとから考えること?」

そんなご意見をお持ちの方はいらっしゃるでしょうか。

相続は「**争族**」とも言われるほど、親族とはいえたトラブルが多い問題です。

実態は遺産相続における裁判の約35%は1000万円以下、5000万円以下まで合わせると全体の約80%にも上ります。相続について知識なく過ごしていたため損をしたケースも。親の老後や介護を考えるタイミングで、相続や贈与について少しづつ情報収集することは非常に重要です。



講師:三井住友信託銀行

小西 憲之 氏

【土地建物・預貯金・保険や株・自動車・貴金属・債務】など少なからず

皆さんお持ちではないでしょうか。それらを残された人たちが分割時に争いを避けるためにも遺言作成は非常に有効です。例えば介護をしてくれた近所に住む子どもに有利にしてあげたい、兄弟とは離れていて疎遠、先妻と子がいる、事実婚で籍をいれてないパートナーがいるなど、そういう場合は特に必要です。遺言は公正証書遺言で作成することがおすすめで、一般的なサラリーマン世帯では5~10万円程度で作成することができるそう(作成費用は財産額と受け取る人の人数で決まります)。有効な遺言を作るためには専門家へ相談することも可能ですが、1回ではなかなか把握しきれないものでした。

老後の安心に向けて、まだまだ勉強を重ねていきたいと思います!

自指せ全問正解!
相続・遺言クイズ!

①負債を相続放棄するため
に実印押して印鑑証明も提出した!
A放棄できる B放棄できない

②生前贈与で祖父母から11
0万円ずつ計220万円もらつた。
非課税だよね?
A そうです B 違います

③配偶者のみに全額渡すと
いう遺言に対し、本人兄弟は
遺留分を
A請求できる B請求できない

◎サークル紹介 (永山)

「俳句ベルブ」



作品を掲載した俳句冊子
『多摩青門』
永山公民館閲覧棚にて
いつでも読むことができます



活動の様子

2017年4月、多くの人に俳句を楽しんでもらおうと開催された公民館市民企画講座(俳句入門)を終え、サークル活動をスタートして9年目。「多摩青門」西村睦子主宰の指導のもと12名で句作を楽しんでいます。一人ひとりが二つのお題で五句持ち寄り、全句の中から佳句を選びそれぞれの句を互いに選評。主宰から指導(添削)を受け、月1回の句会が進んでいきます。

定例の句会のほかに、「多摩青門」に所属する句会との合同の新年俳句大会・吟行などが楽しめます。体験見学大歓迎です。気軽に覗いてみてください。(活動日時のご都合がつかない方には、他句会をご紹介します)

※吟行(ギンコウ):詩歌・俳句を作るために、景色の良い所や名所旧跡などに出かけて行くこと。

日時: 第2水曜日 13:30~16:00 場所: 永山公民館(学習室)

連絡先: 八東眞司(ヤツヅ カシンジ) 090-1538-4495



遺言クイズ答え ①B家庭裁判所へ申述。相続開始を知った時から3か月以内に。②B年間110万円はもらう側の合計額。そのため、非課税分を超える110円は贈与税の対象。ちなみに贈与に見なされない日常的な仕送りや生活費・教育費は都度支払っていれば非課税。③B遺言がある場合、法定相続人は関係なくなります。兄弟に遺留分はないため、請求できません。

